

水防法改正に伴う洪水浸水想定区域図の拡充

【水防法改正】

洪水予報河川および水位周知河川について、想定し得る最大規模の降雨により想定される浸水の「区域」「水深」「継続時間」を指定することとされた。

【拡充した内容】

- ① 対象とする降雨 ⇒ 計画規模の降雨（L1）から想定し得る最大規模の降雨（L2）に拡充
- ② 浸水深の表示 ⇒ 水平・垂直避難判断の目安とするため、表示区分の見直し
- ③ 浸水継続時間 ⇒ 水平・垂直避難判断の目安とするため、新規作成

① 対象とする降雨【拡充】

計画規模の降雨（L1）
河川整備において基本となる降雨のこと。

想定し得る最大規模の降雨（L2）
降雨特性が似ている地域において観測された最大の降雨量により設定した降雨のこと。確率規模1/1000を上回る。

拡充

③ 浸水継続時間【新規作成】

氾濫水到達後、一定の水深（0.5m）に達してから、その浸水深を下回るまでの時間

浸水深	浸水継続時間	避難行動
0.5m～3.0m未満	短期間で解消される	避難行動が遅れた場合、高層階へ退避（垂直避難）
3.0m以上	長期にわたり浸水が継続	事前の退避が必須（水平避難）

浸水深・浸水継続時間の両者より避難行動を判断

② 浸水深の表示【見直し】

